

2月のトルコ・シリア直下型大地震を発端に直下型地震の特徴と備えを配信してきました。6万人以上の犠牲者（5月5日時点 日本赤十字社発表資料による）となり、21世紀以降、6番目に死者の多い自然災害となりました。最近ではニュースでは全く取り上げられず、記憶の片隅にしかないかもしれませんが、次の「もしもの時」のご自身の糧にすれば良いと思います。

【非常時持ち出し品 フェーズフリー】

日常的に活用しているものが、実は防災にも役立つ！

“災害のためだけに備えない防災備品”

「フェーズ・フリー」とは、日常時と非常時の区分を無くす、という取り組みです。

・ローリングストック

ふだんの食べ物や飲み物を少し多めに買って置いて、古いものから順に消費しながら、一定量を備蓄する方式。

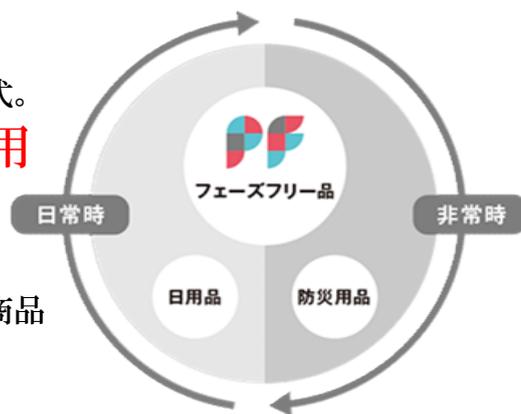
・アウトドアやDIYグッズの活用

登山やキャンプに使うアウトドアグッズは、電気やガスが使えない時に生活を維持するための道具として活用できます。

DIY (Do It Yourself) のグッズや、100均の商品にも活用できるグッズが見つけられます。

・日常使いの日常品

靴、帽子、オートバイや自転車用のヘルメットなど、新品を備える必要はありません。日常使いの品の方が、使い方は分かっているし、身体にフィットしているものです。古くなったから捨てる、ではなく、使い古したものを防災備品に回すのも一考です。寝るときに、使い古したけどまだ底の丈夫な靴を枕元に置いておくのは良い対策です。



【防災ハンドブック】

県や市が発行した防災ハンドブックとしては、2020年11月に県が発行したものが最新です。回覧の冊子数しか確保できませんでした、全戸配布できず申し訳ありません。

お手数ですが必要だと思われたページは、コピー・スキャン・写真など取って防災にお役立てください。

また、防災グッズに関しては、近隣のホームセンターに無償配布の冊子が置いてあります。そのような情報誌を参考に、非常時持ち出し品を揃えておいてはいかがでしょうか。



出典

NHK 明日をまもるナビ

“備えない防災” 「フェーズフリー」

